

活動報告

2011年
2月 ・男女共同参画室推進委員会議開催

PICK UP!



一時託児室の愛称が決まりました

託児室せんたん !

愛称応募の中から「託児室せんたん」に
決定しました。

たくさんのご応募、ありがとうございました。



託児室せんたん 備品募集!

いよいよ託児室せんたんの利用が始まります。
「子どもが大きくなって使わなくなったけど、捨てるのはもったいない」「また誰かの役に立てばなあ」という育児用品があれば、是非、託児室せんたんで使わせてください。
子どもたちが安心して楽しい部屋づくりにご協力を♪

☆募集する備品の例☆

| | | |
|------------|---------------|--------------|
| ベビーベット | ベビー布団・毛布 | ベビー椅子（股ベルト付） |
| ベビーカー（バギー） | 各年齢のおもちゃ | バスタオル・タオル類 |
| 幼児用椅子 | 各年齢の絵本 | 小児用学習机・椅子 |
| おんぶひも | その他役立ちそうな育児用品 | |

※ご協力いただける方は男女共同参画室までご連絡ください。

男女共同参画室
場所：学際融合領域研究棟2号館3階
TEL：0743-72-5137 5138
FAX：0743-72-5139
E-mail：sankaku-jimu@ad.naist.jp



参画室の役割と活動

受験生のためのオープンキャンパス2011に参加します。

平成23年3月12日（土） 奈良先端大において、「受験生のためのオープンキャンパス2011」が開催されます。

男女共同参画室では、13時から14時半まで、バイオサイエンス研究科L12講義室において、「来たれ未来の女性研究者～企業・大学で活躍する方法教えます～」と題し、受験生・現役大学院生向けに、女性研究者のキャリアを考えるセミナーを開催いたします。

また、若手研究者の講演の後は、少人数形式による相談会も開催する予定です。受験生に限らず、研究キャリアを考えている女性大学院生・ポスドクの方々も是非ご参加ください。

また、参画室の活動を紹介したブースもバイオサイエンス研究科棟に出展する予定です。ご相談窓口にもなりますので、こちらも併せてお越し下さい。

テーマ：「来たれ未来の女性研究者～企業・大学で活躍する方法教えます～」

場所：バイオサイエンス研究科L12講義室

時間：13:00～14:30

講演者：森 典華 氏

（名古屋大 ビジネス人材育成センター）

柳川 由紀子 氏

（オムロン株式会社・奈良先端大OG）

宗景 ゆり 氏

（奈良先端大 バイオサイエンス研究科）

バイオ棟 1階
男女共同参画室
講義室&ブース
はこちら



第2回 テーマ「仕事の効率化」②

バイオサイエンス研究科 植物発生生物学・中島敬二准教授

「仕事の効率化」はだれがする？

私には2歳と4歳の息子がいます。妻も同業ですが本学に勤務していますので、同居さえできない研究者夫婦が大勢いることを考えると、恵まれた環境と言えるでしょう。それでも、わがまま盛り2人の幼児を育てながら仕事をこなすのは、時にかなりのストレスとなります。もちろん、子供たちのちょっとしたしぐさや言葉が、そのストレスを癒してくれるのもまた確かなのですが。

研究者の常で私も結婚が遅かったため、子育ての時期と仕事が増える時期が重なってしまいました。独身時代は、1日24時間のほとんどが自分のものでしたから、「仕事の効率化」など特に考える必要もなく、また仕事のほとんどは学生の実験指導や自分の研究でしたから、夜遅くまで研究室で仕事に没頭する毎日でした。ところが、子供が出来て生活が一変しました。朝、子供を保育園に預け、夕方迎えに行きます。子供が寝てくれれば、家で夜半まで仕事をしますが、それでも仕事に使える時間は1日10時間ほどです。こうなると「仕事の効率化」について、いろいろな意味で考えるようになります。

大学教員の「仕事」は、学生の指導や講義などの「教育」、大学や研究室の「管理業務」、論文査読など「外部からの依頼」、そして予算申請や論文執筆などを含めた

「自身の研究」、と多岐にわたります。これらを並行してこなすのですが、「自身の研究」以外にはなんらかの「メ切り」がありますから、相手に迷惑がかからない程度に守らなければなりません。そうして優先度の高いものから順に片付けているうちに、自分の研究がどんどん後回しになってゆきます。研究には厳密な「メ切り」がありませんから、何とかしたいと思っても、現実的にそちらに手が回らなくなってしまうのです。

国立大学の法人化や競争的環境の導入で、大学教員の仕事のうち「教育」と「管理業務」の量が飛躍的に増えてしまいました。そして、この傾向は今後さらに強まってゆくと思います。限られた時間でそれらをこなすには、「研究を犠牲にする」あるいは「家庭を犠牲にする」という禁じ手を使う日が近づきつつある実感があります。仕事のひとつひとつを効率化するとしても、現実には個人の努力で出来ることは限られていますし、そもそも「教育」や「研究」では、効率という尺度自体が意味をなしません。本学の研究者が「研究力の高さ」と「ワークライフバランス」の両方を維持するにはどうしたら良いのか、その方策を組織全体として真剣に考えるべき時期が、そろそろ来ているように感じます。

今後の活動予定

2011年

- 4月 ・男女共同参画推進委員会議開催
- ・平成23年度男女共同参画室構成員決定
- ・合同PT会議開催
- 5月 ・オープンキャンパス時に広報ブースと一時託児の実施

お知らせ

けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、ワーク・ライフ・バランスの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法:ご氏名・所属・メールリングリスト用メールアドレスをご記入の上、メールにてお申し込み下さい。
E-mail: sankaku-jimu@ad.naist.jp

※詳しくは参画室HPをご覧ください。(URL: http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html)

ワーク・ライフ・バランス相談窓口

ワーク・ライフ・バランスに関わる情報を提供しておりますので、お気軽にお越しください。

場 所: 学際融合領域研究棟2号館3階 男女共同参画室内
受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
受付時間: 月曜日～金曜日 10:30～12:00/ 13:00～17:00
T E L: 0743-72-5138
E-mail: wlb-soudan@ad.naist.jp

